



大澤 清 議員

**質問**  
石下地区でも許可業者での一時多量ごみの収集運搬が必要と思うが

**答弁**  
相談・協議を進めていく

大澤議員の質問動画



**議員**

北海道地区では、令和3年度から一般廃棄物収集運搬許可業者を利用して有料で一時多量ごみの処分を依頼できることになり約2年が経過した。そこで家庭から出る一時多量ごみのニーズについての実績を伺う。

**保健衛生部長**

一時多量ごみとは、引越しや遺品整理、施設への入所等で一時的に発生する粗大ごみを中心とした多量のごみのごとで、近年、高齢社会の進展などにより、高齢者や車が運転できない方のごみの処理について、その対応が課題となっている。実績としては、令和3年度が24件、令和4年度が2月末時点で21件となっている。

**議員**

石下地区における家庭から出る一時多量ごみのニーズについて伺う。

**保健衛生部長**

石下地区においては、市役所へ電話や窓口等でそのような要望や問い合わせは特に寄せられていない。しかし、北海道地区において

一時多量ごみの制度が始まって以降一定の実績があることから、石下地区においても潜在的なニーズはあるのではないかと考えられる。

**議員**

石下地区においても、許可業者での収集運搬が必要と思うが、当市の見解を伺う。

**保健衛生部長**

石下地区については、一般廃棄物収集運搬業の許可を下妻地方広域事務組合が出している。そのため、ニーズへの対応については、処理施設であるクリーンポートきぬ及び構成市町の会議などでも共有して、相談、協議を進めていく。

**議員**

当市に住みながら、北海道地区と石下地区で同じサービスを受けられないのは市民サービス上問題があると思う。早急に対応するようお願いする。

**【その他の質問】**

★道路整備について



遠藤 章江 議員

**質問**  
エコとマナーどちらを優先したら良いでしょうか？

**答弁**  
早急に学校現場の課題を踏まえ検討する

遠藤議員の質問動画



**議員**

学校給食で牛乳をストローなしでパックから口飲みをする活動について説明を求める。

**教育部長**

市ではストローの要らない学校給食用牛乳パック School POP (R) を採用している。県より、環境問題やSDGs に対する児童生徒への意識付けとして、プラスチックストロー削減の依頼があり、当市でも令和5年1月16日付で、小中学校に対して協力要請をした。従来どおりストローの使用を希望する児童生徒にはストローの使用も行っている。

**議員**

パックを上手に開けられない、ストローがないと上手に飲むことができない等、現場では教師が指導に時間が割かれ、低学年児童は食事時間が減り困っている。また、次の問題も考えられる。

- ①パックは、人の手が触れる部分で最悪の場合、作成的に誰かが危険物を塗ることも可能である。
- ②ストローを使っても良い、使わなくても良い、という話を学校の

教育現場に持ち込むと、やる子とやらない子で対立が起り、いじめに発展する可能性もある。

- ③牛乳アレルギーの児童がパックを開けるのを手伝ったり、飛び散った牛乳に触れたりした場合の危険性もある。

口飲みについて、エコとマナーのどちらを優先するのか、環境問題、SDGs 教育をしっかりと行った後に、児童、教師、保護者も納得の上で実施すべきだったと考えるが。

**教育部長**

大人の視点としてSDGs、ストローの問題、環境問題、こちらを意識的に優先してしまった結果だと思う。毎日牛乳を飲む子どもたちへの配慮が足りなかったという点で大いに反省している。

小学校から中学校までという年代の違う子どもたちの対応を踏まえた統一ができなかったのは大きな課題、反省ととらえている。

今回指摘があった内容をしっかりと踏まえよう対応するか、早急に学校現場の課題を踏まえ、準備をしっかりとした上で対応していく。